

よりのもり 「夜ノ森の桜(福島県双葉郡富岡町)」その後 3D映像の制作すすむ(7月完成予定!)



↑車載式の3Dレーザースキャナやドローンで桜並木をデータ化 →

映像は町が導入した機器「MRシステム」で再生します。専用ヘッドセットで見ると風景が等倍で広がり、桜のトンネルを見上げることができるそうです。

今年満開時期には地元建設コンサルタント会社が測量を実施しました。高精度の映像を作るため、ドローンでの空撮に加えて、地上からは3Dレーザースキャナ2台で測量。花びらや枝葉などの位置情報を膨大な点群データで面的に記録し、立体映像に仕上げる予定で、完成は7月ごろになるとのことです。

「すけさきた」55号で紹介した「夜ノ森」の桜並木を、地元である福島県富岡町が立体映像(3D)化する取り組みをしています。全長2.2キロ、ソメイヨシノ約400本が続く「桜のトンネル」は町民の心のよりどころで、町は映像を携えて学校などを回り、故郷とつながる機会にしておらおうと制作を進めています。

(河北新報5月4日より)



「夜ノ森」の地名は、岩城藩と相馬藩が領有を巡って争い、「余(私)の森」と主張したことが由来とされています。一九〇〇年に相馬藩主の長男・半谷清寿が、農村開発のモデルとして夜ノ森公園に桜三百本を植えたのが桜並木の始まりでした。

「夜ノ森」の地名は、岩城藩と相馬藩が領有を巡って争い、「余(私)の森」と主張したことが由来とされています。一九〇〇年に相馬藩主の長男・半谷清寿が、農村開発のモデルとして夜ノ森公園に桜三百本を植えたのが桜並木の始まりでした。

業に入り、全体の完了には着手から1年以上を見込む。帰還困難区域は放射線量が高く、除染対象外。議員からは「放射線量をどこまで下げるか」除染の数値目標を示すべきだ、「対象地区の拡大を望む」などの声が上がった。帰還困難区域を巡り、安倍晋三首相は今夏までに見直しに関する考え方を明らかにすると表明している。

we support!
RQ
災害教育センター

MONTHLY

「東北に黒龍を送ろう! 大作戦しんぶん」改め
復興支援『すけさきた』
「すけさきた」とは
宮城県登米市あたりの言葉で
「ボランティアに来たよ」という
意味である

「すけさきた」とは
宮城県登米市あたりの言葉で
「ボランティアに来たよ」という
意味である

JULY
11
2016

今年も開催! 歌津復興夏まつり @南三陸町歌津地区伊里前福幸商店街特設会場



沖縄と歌津、どちらの地域にも「結」という、助け合い・相互扶助の文化があり、人々は支え合いながら生きてきました。今回の震災の際、この結の文化がたくさんの人を救いました。「結まーる あげふポストのたびまつり」という名前は、二つの地域をつなぐこの「結」ということばから生まれました。

西表島に漂着したポストの縁でつながる南三陸町歌津で、今年も8月7日に「歌津復興夏まつり」が開かれます。ポストの帰りを祝う「結まーる あげふポストのたびまつり」も同時開催されるということです。毎年このまつりには、西表島から応援の寄せ書きを作ったり、みなさんから寄付を募ってハインを送ったりしてきました。今年もみなさんも是非現地に赴いてまつりに参加しませんか? 航空券は各自での手配となりますが、何名か集まった場合は、昨年西表にも来られた南三陸町観光協会のみなさんに、宿泊の手配などお願いしようと考えています。ご興味のある方は、西表島エコツーリズム協会事務局までご連絡ください。(0980-85-6331)